

応募方法 1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内(未発表のものに限る)。

白石の新鮮野菜 う～んとうまいから、食ってみてけらい～ん!

白石市農産物直売所連絡協議会では会員を募集しています。市内で直売活動をされている方などで興味のある方は、気軽にお問い合わせください。



2月の人気農産物

ホウレンソウ、ネギ、キャベツ、春菊、ブロッコリー など



青っ葉市直売所

2月は、あま～い「シリウスいちご」(数量限定)が販売になります。



▲売切御免の「シリウスいちご」

※2月第3週から販売開始予定。

2月17日(水)は、①②両店で「赤飯」と「甘酒」を準備して、皆さんのお越しをお待ちしています。

①ポーチパーク内

2月3・10日(水)のみ休業 毎週水・土曜日9:00～12:00

②本郷店(旧国道113号角田街道踏切そば)

2月17日(水)から営業。 毎週水曜日9:00～12:00

③いきいきプラザ 4月16日(土)から営業

※スーパービック白石店でも新鮮野菜を販売しています。 佐藤よし子 ☎25-8860

羽山朝採り市 毎週土曜日9:00～12:00

●場所 犬卒都婆公会堂前 小畑胖 ☎27-2236

軽トラ市 毎週金曜日9:00～12:00

●場所 すまゐるひろば 四竈 ☎29-2451、山田 ☎26-1345

こっちのいちごの方が大きいよ!

1月、市内の保育園・幼稚園の園児たち約250人が生ごみ資源化事業所「シリウス」に隣接する温室ハウスでいちご摘み体験と試食を行いました。

1月7日にいちご摘みなどを行ったはるかぜ保育園の園児17人は、「見てみて! こっちにおっきいいちごがあったよ!」「とってもあま～い」と、いちごを口いっぱいにはおぼっていました。



小十郎の郷 ～農産物生産者募集中～

毎日9:00から18:00まで営業!

採れたて新鮮野菜のほか、物産、スイーツ、地酒、地ビールなども販売しています。

●場所 JAみやぎ仙南白石地区営農センター構内(福岡長袋字八斗蒔)

☎小十郎の郷 ☎22-0881

http://www.kojuro-sato.com



馬牛沼産直センター

毎週火・木・土・日曜日9:00～17:00

新鮮冬野菜や「斎川凍豆腐」などを取り揃えています。

●場所 国道4号沿い馬牛沼付近

☎馬牛沼産直センター ☎25-0520

バーバ工愛市

①旧JAみやぎ仙南白石地区事業本部ななめ向かい

(バーバ工愛市のオレンジ色のぼり旗が目印)

毎週水曜日9:30～12:00

※営業時間変更は2月末まで。

②JAみやぎ仙南福岡支店構内店(旧あぐりハウス白石)

3月から営業を再開します!

☎JAみやぎ仙南女性部白石地区バーバ工愛市 ☎25-3531

小原いきいき直売所 3月まで冬季休業

4月から営業を再開します!

※各直売所では、白石産の新鮮な旬の野菜や花、漬物などを販売しています(直売所により品ぞろえは異なります)。

※白石市農産物直売所連絡協議会加盟店のみ掲載しています。「SSN」は「白石・新鮮・農産物」の略称です。

俳壇

山家 弘子 選

評 一首目、ささやかな矜持の一つともなるうか。誰に言うでもない思いを描く。二首目、日々の自らの鼓舞、そんななかから生まれたうた、自然との対話がおもしろい。二句・三句が効いている。吹かれゆく「落ち葉の景色」が寂しさを募らせる。

湯上がりには片足あげて下ズボン穿かれたりと老いてはうれし霜柱弾み返しが俺に言う真冬ちかひぞ風邪などひくな母と来しこの山葵田や時を経て来れば落ち葉の景色かわらず 桜井真喜子 阿部はぎの 正月は開炉裏かこみて餅焼きしわが家の昔みんなが浮かぶ 高橋 政男 日曜日老人会は年忘れころゆくまで十八番を踊る 高子うぶん 市庁舎を訪るる人ら癒したし菊の盆栽に真ごころを込め 佐藤 育男 白菜を熟柿で漬くるおつけもの自然の旨み醸し出だせり 菅野ちさよ カイテンよりつまみ出されてカメ虫は庭草の陰にしばらくもがく 寺崎 悦子 華やかなおせちカタログ届きたり心ゆれつつも目にて味わう 末吉アツ子 峰渡るV字編隊ふゆの鳥白石川に今年も飛来す 星 明

市民文芸

岩崎 聰之介 選

登校を急ぐ子供等息白し 初雪や懐かし人に逢つたよう 地に屋に光を浴びて銀杏散る 神明社鎮守の森や寒昂

岩澤 伍峯 佐藤 孝子 末吉アツ子 星 明

評 一句目、家族と離れて山里の古民家に棲んでいる。好きな仕事で充実した日々を過ごしているが、虫の音が絶え小寒小寒となって氷雨が降る夜などは、一家団圓が恋しく寂しさが募ってくるのであろう。二句目、農家の人が早々に新米をいただいた。光り輝く新米を娘に食べさせたくて、早速送ったのである。子を思う母親の心情が描かれた。三句目、九十歳を過ぎると、友人や知人が亡くなっていき、話し相手が減って淋しい限りである。楽しみにしている年賀状も数えるほどになり、五十年来やりとりしていた友達の賀状がない。病氣? それとも...などと暗澹とした思いにおしつぶされそうになったのである。

柳壇

四電 英夫 選

対岸の火事では済まぬ多発テロ 末吉アツ子 大豊作軒に見事な柿のれん 阿部はぎの ありがとう言葉一つでわかち合う 安藤 聡 人情にふれて人間らしく生き 草野 清 野つ原に大の字に寝て宇宙抱く 門脇 貞造 青空をせーんぶ背負って赤トンボ 高橋由美子 マイナパー私の秘密全部知る 佐藤 啓子 白石を希望の虹がひとまたぎ 大庭美智子 子どもらに励まされつつ今日生きる 遠藤 舞

評 一句目、世界を恐怖に陥れているテロ。五月には伊勢志摩サミットが開かれる。議長国として、無事成功裡に終わることを祈りたい。二句目、今年には柿の大豊作。しかし、あまりの豊作に取られないままの柿がいたるところに。「取る人もなくて氷雨に濡れる柿」。三句目、「ありがとう」「すみません」「おかげさま」。人間関係を円滑にするキーワード。言葉は人間にだけ与えられた魔法のツール(道具)か。

今年(かんし)は干支で言うと丙申年で、干支で言う「猿」です。この猿は、人間の労働を助ける動物だった牛や馬などとは違い、昔からその容姿やおどけた動き、動物としては利発で賢いということもあり、ペットとして飼われてきたようです。猿という皆さんは何を思い浮かべますか? 私は、子どものころに読んだりアニメで見たりした「西遊記」を思い出します。「混沌から遙かな時が経ち、世界は4つの部洲に分かれました。東勝神洲、西牛貨洲、南瞻部洲、北俱盧洲です。その東勝神洲の海に位置する傲来国の国境に、花果山という名山がそびえていました。花果山のでっぺんには仙石がでんとつかっていましたが、それが卵を産み、卵が風を受けて、金色の目の石ザルになりました。(西遊記あらすじより抜粋)。それが孫悟空の誕生です。孫悟空は最初、天界の乗っ取りをたくらみ反乱を起こす「齊天大聖」と名乗って暴れていました。そしてお釈迦さまによって五行山に500年閉じこめられ、三蔵法師の弟子となり天然に経典を取りに行く手伝いをするこで許されました。如意棒を持ち、さんとん雲に乗って妖怪を倒す、三蔵法師を

助ける猿です。夏目雅子さんが三蔵法師、堺正章さんが悟空を演じた実写版の「ガンダーラ」という曲も好きでした。三蔵法師の弟子には、ほかに猪八戒と沙悟浄、馬に化身した玉龍もいました。三蔵法師は実在の人物で、名前を玄奘三蔵といい、西暦629年から645年に唐の都長安今の西安からインドへ渡って仏教の経典を持ち帰った人物です。その旅の記録を記した「大唐西域記が西遊記の基になっています。猿と言えば、世界遺産の日光東照宮の「見ざる・聞かざる・言わざる」も有名です。この三猿はただ何もしないということではありません。本来の意味は、「人の欠点を見ない、人の悪口を聞かない、人の悪口を言わない」という戒めの教えです。最近の猿は、里や町まで来て、作物や商品を荒らす厄介者になっていきます。本当に困ったものです。山に猿の居場所が少なくなったのか、美味しい食べ物を知ってしまったのか、猿智慧ならず、人間の智慧で共生をはかりたいものです。今年一年も、それぞれの智慧を出し合い、共に汗をかき、共に学び、この白石市をさらにもう一步素敵に街に育てていきましょう。

丙申年

猿はただ何もなし